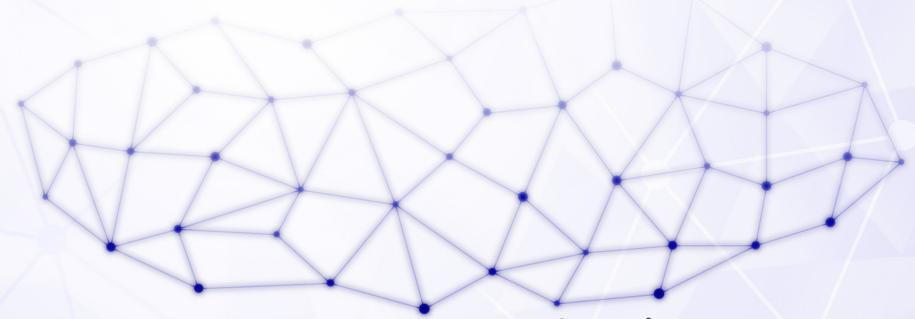
水と油? ~ アジャイルとオフショア開発 ~



KDDI株式会社 プラットフォーム開発本部 クラウドサービス開発部

課長補佐 佐々木 徹





開発フレームワークと沿革

夜も眠れない問題

Agile と オフショア

総括



KDDI クラウド戦略と本プロジェクトの概要



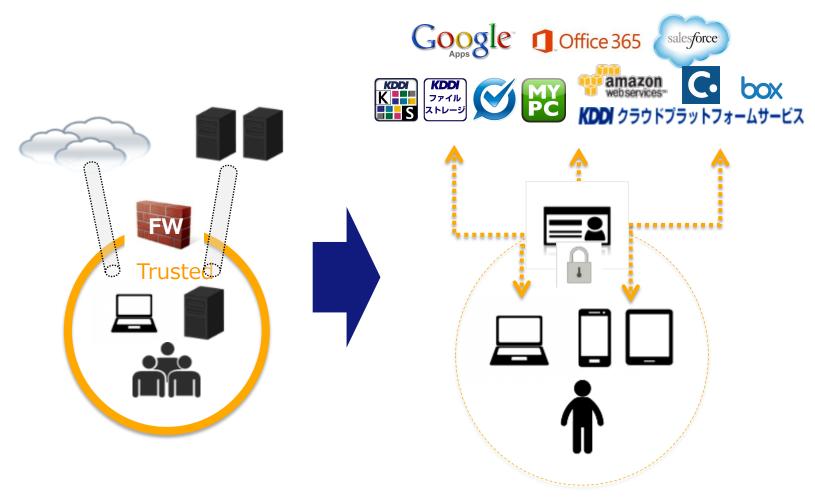
KDDIのクラウド戦略

グローバルクラウドと高品質なキャリアクラウドを一括提供





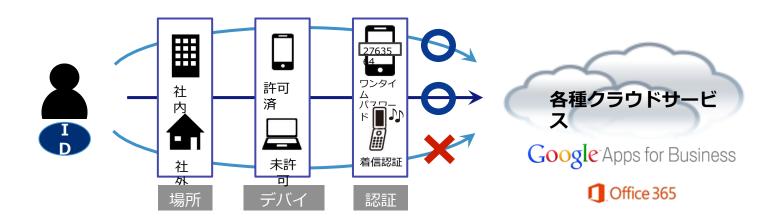
KDDI Business ID~IDaaSをスタート



アイデンティティ管理は、これからの時代のパーソナルなFW



KDDI Business ID



クラウドサービスのご利用を より安全・安心・簡単にするために







日本のメンバーと同じ土俵で! (決して、開発者と受注者の関係にならない)



国際的な観点も踏まえ、

製品をともに磨き上げていきたい



今日のお話し

現実問題そんなうまくいくわけがない

どんな課題にぶつかったのか、 どのように解決していったのか、

そして今後どのようにしていきたいかを話していきます







オフショア実績

2014年 7月 オフショア始動

2014年10月 大規模障害通知機能リリース

2015年5月 移動体向け基地局故障通知機能リリース予定

その他、Atlassian 環境のプラグイン開発、

現在は、KDDI Business ID の多言語化対応などにも着手







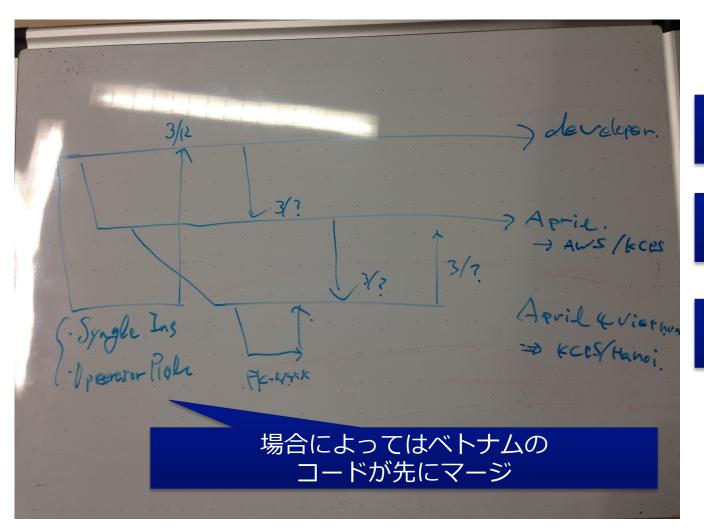
開発フレームワーク

- アジャイル開発(スクラム)
- ・テストファースト(IT、UTともにテストファースト)
- ペアプログラミング(ベトナムメンバー同士)
- ・言語 フロントエンド:Backbone.js バックエンド:Java
- ・メンバー
- 体制
 - -日本:プロジェクトオーナー、QA(常駐なし)
 - -ベトナム: テストケース作成、コーディング、テスト



開発フレームワーク

・Git を利用し、日本・ベトナム双方で同じソースを開発



開発マスタ ブランチ

日本ブランチ

ベトナム ブランチ

スクラム運営

- ・毎週水曜日 隔週火曜日スクラムイベント
- ・1 wスクラム 2 wスクラム
- ・コミュニケーション手段
 - ー チャット: 英語
 - ー ドキュメント: 日本語
 - 一 朝会: Web会議&通訳
 - ー 仕様(チケット): 英語&日本語



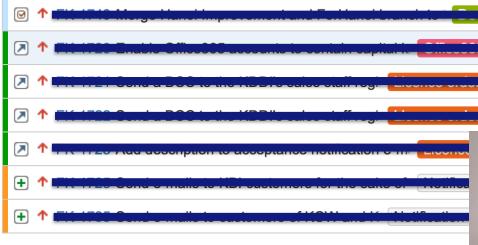
ベトナムのカンバン

~ Sprint 44 13 課題

08/4/15 1:14 午後 • 21/4/15 1:14 午後



Linked pages











- ・立ちはだかる「文化」、「言語」
 - 言いたいことがうまく伝わらない
 - 言われたことしかしない



- ・立ちはだかる「文化」、「言語」
 - ー 言いたいことがうまく伝わらない
 - ー 言われたことしかしない
- ・日本側の理解不足
 - 一日本チームはベトナムのコードを あまり知らない
 - ※当初は週一のコードレビューのみ (関わらないようにしていた?)







初回リリース、 日本のソースコードと初のマージ → リリース直前に日本側でレビュー



初回リリース、 日本のソースコードと初のマージ → リリース直前に日本側でレビュー → **300**以上のコメントが・・・



初回リリース、 日本のソースコードと初のマージ → リリース直前に日本側でレビュー → 300以上のコメントが・・・

> 中にはバグった実装に無理くり テストを合わせるものまで



早期解決する必要があった問題

- ・仕様が伝わらない問題
- ・細かいことが伝わらない問題







行間を読む → 文化の違いで×



行間を読む → 文化の違いで×

※もともとは情報量の少ないチケットから、 要件定義ができることを目指していた



行間を読む → 文化の違いで×
チケットに受入条件を詳細に記載した



全体像の把握 → 言語では限界



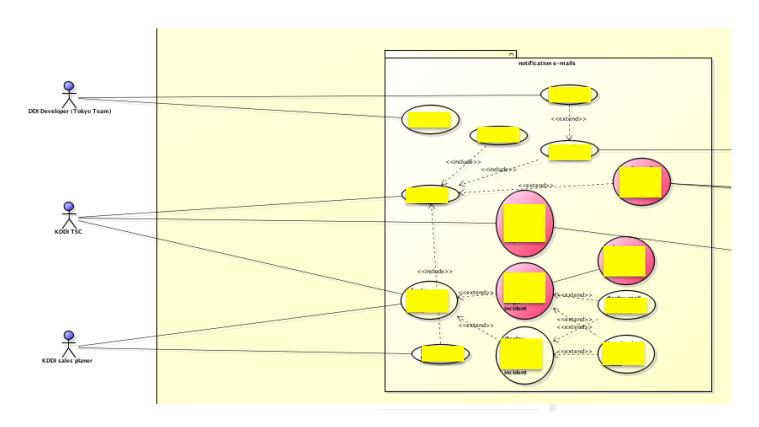
全体像の把握 → 言語では限界

共通の言語が必要:ユースケース図で説明



全体像の把握 → 言語では限界

共通の言語が必要:ユースケース図で説明





行間を読む → 文化の違いで×

チケットに受入条件を詳細に記載した

全体像の把握 → 言語では限界

ユースケース図の導入

背景の理解、ストーリーの理解は向上! が、しかし・・・



細かいことが伝わらない問題



細かいことが伝わらない問題

ざっくりは理解しても、詳細が詰まらない



細かいことが伝わらない問題

ざっくりは理解しても、詳細が詰まらない

とにかくレビュー、レビュー、レビュー

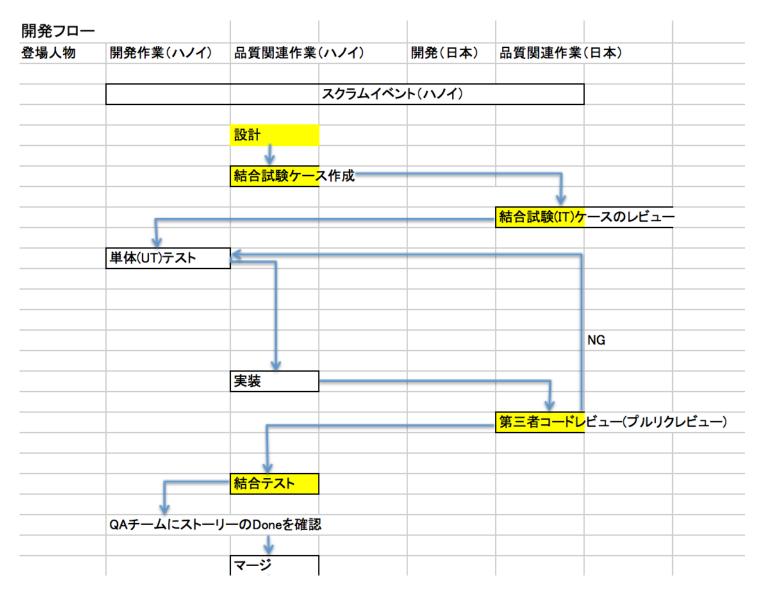


ざっくりは理解しても、詳細が詰まらないとにかくレビュー、レビュー、レビュー、レビュー

チケット単位での

- ・API設計 / DB設計のレビュー
- ・ITレビュー & テストファースト
- ・プルリクエストによるコードレビュー







ざっくりは理解しても、詳細が詰まらないとにかくレビュー、レビュー、レビュー、レビュー

チケット単位での

- ・プルリクエストを導入
- ・API設計/DB設計のレビュー
- ・ITレビュー&テストファースト

意図した成果物をあげられるように! ソースコードマージも大混乱を回避!



ざっくりは理解しても、詳細が詰まらないとにかくレビュー、レビュー、レビュー、レビュー

チケット単位での

- ・プルリクエストを導入
- ・API設計/DB設計のレビュー
- ・ITレビュー&テストファースト

意図した成果物をあげられるように! ソースコードマージも大混乱を回避! が、しかし・・・







チケット至上主義問題

オフショア先の評価基準がチケット数 ー>チケットを稼ぐために、あの手この手



チケット至上主義問題

チケットのDoneの定義を見直し、 スクラムイベントでのレビューを

厳格に

実施するようした







様々な改善を繰り返してもバグが減らない ー>コードの複雑化が要因の一つ

あるコントローラの複雑度を測定すると・・



様々な改善を繰り返してもバグが減らない ー>コードの複雑化が要因の一つ

あるコントローラの複雑度を測定すると・・

【Sonar Qube を活用したコードの複雑度の測定結果】





重要だったのは、目標と問題点の定量化



重要だったのは、目標と問題点の定量化

- ・バグの数を日本と同等 (ストーリーに対する発生頻度)
- ・コードの複雑度も日本と同等をキープ



コード複雑度ワーストスリー問題

やり方は(もう)指示しない

Createonigienisiviani notory ritovri

11./

.0

ocessor







・日本と比較にならない単価



- ・日本と比較にならない単価
- ・非常にまじめに取り組む姿勢



- ・日本と比較にならない単価
- ・非常にまじめに取り組む姿勢
- ・友好的(親日)





色々課題はある。



色々課題はある。

が、短い周期で改善を繰り返す



色々課題はある。

が、短い周期で改善を繰り返す

努力が開花する頃、大きな成果へ



色々課題はある。

が、短い周期で改善を繰り返す

努力が開花する頃、大きな成果へ

Agile と オフショアは非常に相性がよい



まとめ



・重要なこと3つ



・重要なこと3つ「UML」、「明文化」、「定量化」

※アジャイルでもウォーターフォールでもきっと同じ



- ・重要なこと3つ 「UML」、「明文化」、「数値化」
- ※アジャイルでもウォーターフォールでもきっと同じ
- ・細かい単位で改善を繰り返すことができるアジャイルは、むしろ向いている



- ・重要なこと3つ 「UML」、「明文化」、「数値化」
- ※アジャイルでもウォーターフォールでもきっと同じ
- ・細かい単位で改善を繰り返すことができるアジャイルは、むしろ向いている
 - テストファーストの真価が発揮される



Quality Cloud

